

# ミズムシ

*Hesperocorixa distanti distanti*

カメムシ目ミズムシ科



ミズムシ（成虫）。後肢がオール型

魚類

### 名前の由来

由来は不明。漢字名：水虫

底生動物

### 形態的特徴

**成虫の特徴：**体長約9mm、後肢（あし）には毛があり、オール型である。胸部背面（うなじあたり）に9～12本の横スジがあり、閉じた翅（はね）には淡黄色と黒のまだらもようがある。マツモムシのように背泳ぎすることはない。  
**類似種：**マツモムシ、コミズムシ。

タテに黒いスジがある。  
コミズムシは体長7mm以下である。

両生類  
爬虫類

トンボ

ミズムシやコミズムシはマツモムシに比べて前肢が短い。また、マツモムシは黄色地に黒のもようがあり、背中中央



ミズムシ(成虫)

チヨウウ

### 生息環境・分布

流れの緩やかな河川・池沼・水田の注水植物帯。  
**分布：**国外分布は、朝鮮半島・中国北部・ロシア極東域。国内分布は、北海道～九州。北海道内では、普通に分布。十勝地方では、普通に分布。



ミズムシ(成虫)。胸部背面に横スジがある

樹木

(在来種)  
草花

### 食性・他の生物との関わり

藻類から吸汁する。

(外来種)  
草花

### 繁殖生態・寿命

水生植物に卵を産み付ける。

魚類の餌となる。

哺乳類

### 興味深い話

- 風船虫とよばれて親しまれてきた。翅と腹部の間に呼吸用の空気が入っているため何かにつかまっていなると浮き上がってしまう。
- 道東では普通に見られる種だが、全国的には減少傾向にある。

■底生動物に同じく「ミズムシ」という種名だが、全く別の生物がいる。甲殻類でワラジムシ目のミズムシで、昆虫でも希少種でもないが、「きたない水」の指標種である。

(水辺)  
鳥類

### 配慮事項

流れが緩やかで植生ゆたかな水域の存在が重要である。

(草原)  
鳥類  
樹林

### 生活サイクル

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
確認できる時期													

### 参考文献

「日本産水生昆虫検索図説」川合禎次 東海大学出版会 1995  
「日本動物大百科昆虫Ⅱ」日高敏隆 平凡社 1996

「滋賀の水生昆虫・図解ハンドブック」谷田一三・竹門康弘 監修 滋賀県小中学校教育研究会理科部会 編 新学社 1991